

朝日の冬は楽しいことが盛りだくさん

平成30年も、残すところあとわずかとなりました。朝日の活動地は、たくさんの落ち葉で埋め尽くされた秋から、一面真っ白な冬へと季節が変わり始めています。1月になると、100mの手作りコースが4本もあるスリル満点のチューブ滑りも始まります。土日には一般開放も予定していますので、たくさんの方に楽しんでいただきたいと思います。所員一同皆様を心よりお待ちしておりますので、来年どうぞよろしく願いいたします。

森のクリスマスリース・門松づくり

12月8日(土)に、朝日わくわく広場⑨「森のクリスマスリース・門松作り」を行いました。朝日の活動地で採れたどんぐりや葉っぱ、竹などを材料にして、オリジナルの作品を作りました。大人も子どもも夢中になって時間いっぱい活動に取り組み、完成後はあつあつのシチューと焼きたてのやきいもを食べ、心もおなかも大満足！完成した作品を飾って、クリスマス・お正月を迎えるのが一層楽しみになりました。



ホクホクのやきいも
おいしかったよ！



ヤマガタダイカイギュウと化石掘り

10月20日(土)21日(日)に、朝日わくわく広場⑧「ヤマガタダイカイギュウと化石掘り」を行いました。山形県立博物館の石黒宏治研究員を講師にお迎えし、大江町用地区のダイカイギュウ発掘地の見学や、朝日町能中地区での化石掘りを体験しました。岩石の割れ口から化石の一部を見つけると大きな歓声が上がります。貝やウニの仲間の化石をたくさん掘り出すことができました。数百万年の歴史を経て発見した化石は、参加者の皆さんの宝物になることでしょう。



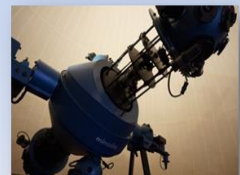
プラネタリウム一般公開

秋冬の星空めぐり

クラリネット：渋谷啓子さん フルート：久光奈穂美さん ナレーター：菊地 翼さん

11月24日(土)・25日(日)にプラネタリウム一般公開を行いました。3人のスペシャルゲストによる生演奏とナレーションで、参加者を星空の世界へと案内しました。今回は、朝日名物「野菜どっさりカレー」も登場し、前回以上にたくさんの方からご参加いただきました。

冬の星空観察はとても寒いですが、晴れた日の夜空は星がとてもきれいに見えるので、たくさんの冬の星座を探してみてくださいね！



朝日の山並み

発行
朝日少年自然の家
電話
0237(62)4125
Fax (62)4126
ホームページ
山形県朝日少年自然の家
で一発検索



今後のイベントのご案内

冬まんきつ体験①「スノーチューブすべり＆アイスクリーム作り」

スリル満点のチューブすべりや手作りのアイスクリームのほか、朝日名物の特製カレーを食べて心も体も元気モリモリに！

☆平成31年1月19日(土)

対象…幼児～中学生・保護者(先着80名)

※小学2年生以下は保護者同伴となります。



冬まんきつ体験②「イグルー作りと冬あそび」

カナダ北部の人々の冬の住居「イグルー」作りをはじめ、体育館テント泊、雪灯ろう、冬花火、チューブ滑りなど盛りだくさんの2日間

☆平成31年2月2日(土)～3日(日)

対象…幼児～中学生・保護者(先着40名)

※小学2年生以下は保護者同伴となります。



みんな集まれー！「チューブすべり一般開放」

100mコースが4コース。家族みんなで遊びに来てね！

1月…12日(土)午前午後・13日(日)午前午後・27日(日)午後

2月…9日(土)午後・10日(日)午前午後・16日(土)午前午後

23日(土)午前午後・24日(日)午後

※前日17:00までの電話予約が必要です。

※中学生以下は、保護者同伴でお願いします。

匠 集合 10:00
解散 11:30
匠 集合 13:30
解散 15:00

自然の家の“音”

朝日少年自然の家 所長 後藤秀之

標高195mの朝日を見上げ、楯山のみもとから徒歩で中腹あたりに来ると、街の喧騒が消え始め、代わって鳥のさえずりや風の音が聞こえてきます。日本一公園の眼下には最上川が蛇行しながら無言で悠々と流れています。

早朝、冬間近のキャンプ場に下り目をつぶって耳を澄ますと、静けさの中に独特な音が聞こえてくるようになりました。枯れかかった広葉樹の葉が風に揺れ“カサカサ”と鳴る音は笑い声のようです。“パキッ”という突然の鋭い音に驚いてあたりを見回すと、枯葉が力尽きて枝から離れる瞬間で、命の音(叫び)のように聞こえます。後ろからやってきた木枯らしが木々の間を駆け抜けると、林の中のあちらこちらが乾いた葉っぱの音でいっぱいになります。

秋までテント設営や野外炊飯や自然の冒険等で子ども達の元気な声が響いていた活動地は、今落ち着きを取り戻して冬支度に入っています。少し休憩のひと時です。まもなく、真っ白な雪が深々と降り積もり、見るもの聞くものすべてを包み込んでしまう沈黙の時を迎えます。

年が明け1月に入ると活動地は目をさまし、まぶしい銀世界へと姿を変えます。連日チューブ滑りを楽しみに多くの子ども達がやってきて、笑い声や歓声が響き渡ることでしよう。再び、生き生きとした“音”が朝日に帰ってくるのです。

冬満喫、自然の家で皆様のお越しをお待ちしています。

